

治安・安全情報

(リヨン及びローヌアルプ州)

平成26年(2014年)1月
在リヨン出張駐在官事務所

目次

1. 今月の安全・防犯のポイント
2. 在留邦人の被害事例
3. 地区別治安情報収集結果(新聞 Le Progrès 紙より)
4. 今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件(新聞 Le Progrès 紙より)
 - ① 窃盗犯罪事件
 - ② 粗暴犯罪事件
 - ③ 凶悪犯罪事件
 - ④ 知能犯罪事件
 - ⑤ その他の事件
 - ⑥ テロなどに関する一般治安情報
5. 今月の出来事

1. 今月の安全・防犯のポイント

リヨン市第8区の連続強姦犯が逮捕される

一昨年10月から連続発生していた5件の強姦事件の犯人が逮捕された。1月3日夜にリヨン市第8区で、車中で激しい口論をしている男女がいるとの通報があったために駆けつけた警察が、その現場付近で女性が袋小路上で男に強姦されそうになっているところを発見し、男を現行犯で逮捕して26歳の女性を保護した。この連続強姦事件のために、一昨年からの地域の住民が不安をつのらせ、ソーシャルネットワークなどでも大きな騒ぎとなっていたが、今回の犯人逮捕で、付近の大学などに通う女学生など、リヨン市民は胸をなでおろしている。

リヨン市第3区・6区の警察では、空き巣防犯週間

2013年はフランス全国でも、ローヌ県でも、空き巣の被害が爆発的に増加(ローヌ県では約26%)しているため、リヨン市第3・6区の警察では1月中旬から2週間、特別防犯期間をもうけて、毎日午前9時から午後5時まで、集中的に街中をパトロールした。また被害が報告された場合には、指紋採取や近所の住民の証言(車のナンバープレートや逃走方向)などを集めた。この地域では、平日仕事に出て留守になっている住民宅を、日中(午前中)に狙うケースが頻発しているとのことで、このパトロールで容疑がかかっていたグルジア国籍者窃盗団を見つけ、一時間で5件の空き巣を働いた犯人達を逮捕したとのこと。最近の空き巣の傾向としては、短時間の犯行が主流で、逃亡時に持ち運びやすく目立たない宝石や携帯電話、パソコンなど小さな物品のみが狙われている。

リヨン市第2区警察、繁華街での検査・検問実施

1月23日から24日にかけての夜中、リヨン市第2区警察では多くの警察官を導員して、街中の繁華街にあるバーやディスコなど酒類を出す店に出向き、騒音や労働法違反(安全法・衛生法違反や公共スペースでの喫煙、無許可労働者)などの検査が行われた。店によっては、非常口に商品が積まれていて火災時には非常に危険なケースも見かけられ、違反事項のあった店に対しては罰金が課された。同時に、付近で交通検問が敷かれ、酒気検査で3人の運転手が陽性、内2人は拘留となった。

疥癬(かいせん)(Gale)が増加

ローヌ・アルプ州では、2012年に162件、昨年は200件、今年に入ってからすでに24件の疥癬患者が報告されている。報告が義務付けられていないため、実際の患者数は不明。疥癬は小さなダニが皮膚に寄生しておこる皮膚の病気で、最近では学校や病院、老人ホームなどでも発生している。短時間の接触、衣服や寝具を介した間接的な接触でも感染することがあり、指の間や手首、ひじ、脇やお腹、おしりなどに激しいかゆみを伴う赤い皮疹ができた場合には、すぐに医者にかかって薬で治療すること。自然には治癒しない。感染してから3週間から6週間で発症するので、患者発生の場合には、症状がなくてもその家族やコンタクトのあった人などは、予防で薬治療を受ける必要があり、また洋服や寝具などもすべて50°Cから60°Cの湯で消毒する必要がある。

DNA鑑定で携帯電話盗難犯逮捕

2012年に、携帯電話のひったくり犯人を被害者が追いかけて、取っ組み合いをした際に犯人から取り上げたTシャツを、警察がその後DNA鑑定をして情報登録していたため、最近他の罪で逮捕された犯人と、この事件の犯人とが繋がった。警察によると、ひったくり事件でも、指紋や髪の毛などの遺留品があればDNA鑑定などを行っているとのこと。盗難の被害にあった場合は必ず警察に通報することが重要であると警察では呼び掛けている。

国勢調査はじまる

2014年はフランス国勢調査の年で、1月16日から2月22日にかけて、ローヌ県では80の街で477人の調査員が各家庭を訪問し、調査票を配布・回収する。この調査は人口の推移を調べて、法的措置、選挙区関連、そして国からの予算分配率などの基礎資料とし、また公共交通施設や、各街の公共施設建設、薬局配置などの基礎資料となる。調査員は市長のサイン入り専用カードを持参して各個人宅を訪れ、二種類の調査票を配布し、回収する日を決めてまた戻ってくるという手順。すべての街で行われるわけではないので、自分の街が今年の調査対象になっているかどうかは、国勢調査サイト <http://www.le-recensement-et-moi.fr/> で調べることが可能。ちなみに、2006年から2011年では、ローヌ・アルプ州では262000人の人口が増え、年52000人増加している国内でも最もダイナミックな地方の一つで国内第二の州である。ただし、Villeurbanne市ではすでに偽調査員の被害報告がでており、各家庭では注意するように呼び掛けている。

「アルコール検知器」車内装備義務について

2012年7月1日以降、車両内にアルコール探知器(ETHYLOTEST)を装備することが義務付けられているが、その後、アルコール探知器が市場に十分な数供給されず不足していること、またその探知器の検知結果の信頼性などに疑問がもたれたことなどの理由により、翌年の政令により、2013年3月1日以降は、車内での装備義務はそのまま継続するものの、装備していない場合の罰金制度は廃止されている。

<http://www.securite-routiere.gouv.fr/connaitre-les-regles/le-vehicule/ethylotest>

<http://www.service-public.fr/actualites/002673.html>

2. 邦人の被害事例

昨年末、12月30日にパリ第1区にあるレストランで日本から遊びに来た友人と共に昼食中、椅子の背にかけてあったハンドバックを何者かにすられた。友人との話が盛り上がっていたために注意していなかったこともあるが、一緒に食事をしていた友人も、まったく気づかなかったとのこと。

3.地区別 治安情報集計結果

2014年1月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	東	西	南	北	AIN 県	ISERE 県	LOIRE 県	合計
凶悪犯 (殺人、強盗、放火、強姦等)								2		2							4
粗暴犯 (暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合等)	2	3	4		1		1	3		4		3			1		22
窃盗犯 (侵入班、乗り物盗、車上荒らし、ひったくり等)	1	5	10			2	5	3	5	13	4	1	3		1	1	54
知能犯 (詐欺、横領等)		1	1	1			2	3	1	2	1	1	1	1		1	16
その他 (賭博、売春、麻薬密売、迷惑行為等軽犯罪等)	1	2	1	1	1	1	8	5	8	9		5	1	1	2	1	47
合計	4	11	16	2	2	3	16	16	14	30	5	10	5	2	4	3	143

※ 数字はプログレ紙に掲載された犯罪記事発出数で、統計的な意味はない。

グランリヨン東→Jonage, Meyzieu, Décine-Charpieu, Chassieu, Saint-Priest, Bron, Villeurbanne, Vaulx-en-Velin, Mions

グランリヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon

グランリヨン南→La Mulatière, Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison, Vénissieux, Solaize, Saint-Fons, Irigny, Feyzin, Corbas, Vernaison, Charly, Grigny, Givors

グランリヨン北→Caluire, Rillieux, Sathonay, Fontaines-sur-Saône, Fontaines-St-Martin, Rochetaillée-sur Saône, Mont-D'Or, Limonest, Lissieu, Neuville, Cailloux-sur-Fontaines, Montanay, Genay

4.今月リヨン及びローヌアルプ州で発生した事件（新聞 Le Progrès 紙より）

① 窃盗犯罪事件

1月1日午前1時頃、リヨン市第2区 Victor Hugo 通りを歩いていた女性が、突然数人の男性に襲われ、持っていた携帯電話と財布などを奪い盗られた。

1月2日、ドローム県 Saint-Rambert d'albon 市とアン県 la Chapelle du Châtelard 市に在住する21歳と22歳の2人の男が逮捕された。この2人の若者は、昨年12月29日に Feyzin 市のスーパーで買い物をした後に荷物を運んでくれる人を探していた同市在住の73歳の女性の呼びかけに答え、女性の自宅まで荷物を運んだ。喜んだ女性は、飲み物でも飲んでいくように勧めたが、その間に若者たちはトイレに行ったり、煙草を吸いに外に出たりと女性の注意を散漫させて、パソコンや携帯電話、宝石、クレジットカードを盗み出していた。女性は若者達が帰った後に、物が無くなっていることに気付いた。警察では、1人の若者がスーパーの係員に残っていた電話番号をもとに調査を進めたため今回の逮捕となった。

1月3日、Villeurbanne市 Anatole France 通りに路上駐車してある車をこじ開けていた車上狙いの犯人が、車の持ち主に見つかり、そのまま警察につきだされて逮捕された。

1月3日午前4時頃、リヨン市第1区 Saint-Nizier 地区で、酒に酔った男性4人組をアーミーナイフで脅して、財布や携帯電話を奪い取った3人の若者が逮捕された。この3人は18歳から20歳のリヨン大学医学部の学生だったが、その内の1人は、マルセイユにあるアルジェリア総領事館の副領事の息子だったために逮捕時に特権免除を主張した。警察が調べたところ、本人の所持していた外交旅券が失効しており、ウィーン条約により父親の副領事本人には適用される特権免除がその家族には適用されないことを確認した上、他の2人の学生とともに逮捕された。懲役16ヶ月内拘留6ヶ月という厳しい判決となったが、拘留6ヶ月は電子ブレスレット措置により通学を続けられることとなった。

1月3日午後11時頃、Villeurbanne市 Antoine Primat 通りで、警察がすれ違った車に乗っていた運転手があまりにも若かったために呼び止めて尋問したところ、この車に乗っていた4人組の少年はすべて14歳だった。彼らの話によると、路上の溝に車の鍵が落ちているのをみつけた為、その鍵で開く車を見つけて乗車して自宅に帰ろうとしていたとのこと。車の持ち主は、鍵や車がなくなっていることにさえ気づいていなかったらしい。

1月3日、リヨン市第3区の食料品店に客を装って入った何者かが、刃物を使ってレジの職員を脅して現金を奪い取って逃亡した。この店の職員が犯人の後を追いかけたところ、ホームレス援助センターに入っていったため、内部で犯人をみつけて話し合い、奪われた現金を取り戻した。店内の監視カメラの映像をもとに警察が犯人を見つけ出し、後日逮捕となった。

1月4日、Saint Priest 市内で行われていた交通検問で、運転手がシートベルトを装着していなかったためにトラックの運転手が尋問された。このトラックにはルーマニア国籍の5人の男が乗車していたが、この車のトランクに1.5トンもの銅線や電線のボビンが積まれていた為、警察が調査したところ、それはその日イゼール県で盗まれたものだったことが判明。このルーマニア人5人組は皆前科のある者たちだった。

1月4日、Villeurbanne市 Henri Rolland 通りで駐車してある車の鍵をアーミーナイフでこじ開けて車上狙いをしていた31歳の男を、警察が現行犯で逮捕した。

1月5日午後8時半頃、リヨン市第2区 Montrochet 通りで、通りにいた売春婦のハンドバックを奪い取った4人の未成年の少年が逮捕された。

1月5日、リヨン市第8区在住の42歳の軍人が、インターネットの出会い系サイトで見つけた2人組の女性に連絡し、自宅に招き入れたところ、男性が風呂に入っている間に2人の女性が共犯の21歳の男と一緒に部屋の中にあるパソコンや携帯電話、車の鍵などを盗んで逃亡した。警察は女性達の携帯電話番号やネットのIPアドレスなどを使って調査し、後日犯人達を逮捕した。

1月6日夜、Rilleux La Pape 市で、盗難の届出が出ていた四駆車を運転していた Vaulx-en-Velin 市在住の若い男が警察に逮捕された。取り調べたところ、この男は他にも12台分の車の鍵を車内に所持し、4台分の車の鍵を身に着けていた。これらの鍵は、前夜に St Etienne 市のレンタカー会社から盗まれたもので、この男は運転免許証も停止処分になっていた。

1月5日午後6時頃、リヨン市第3区のPart-Dieu ショッピングセンターで女性から携帯電話を奪い取った15歳と17歳の2人の少年が、Gabriel Péri 広場で逮捕された。この2人は、この他にもリヨン市第6区のMaréchal Lyautey 広場で盗んだ携帯電話などを持っていた。

1月7日、リヨン市第7区と第8区で、近年頻繁に被害者を出している高齢者を狙った偽の水道局職員と偽警察官の家宅侵入盗難事件が2件連続発生した。2件とも被害者は92歳の女性で、偽水道局員の後に2人の偽警察官があらわれ、貴重品を取り出して並べ偽水道局員に盗まれていないか調べるように老女に指示し、その間にいくつかの物を奪って立ち去る手口は2件とも同様で、同犯人の仕業の疑いが高い。

1月7日午後4時頃、Villeurbanne 市 Grand Clément 広場で挙動不審な2人の男が逮捕された。1人の男は警察の姿を見てカバンを捨てようとしたが、その中には17gの大麻樹脂が入っており、手に持っていたもう一つのカバンの中には一緒にいた男から購入したばかりというパソコンが入っていた。このパソコンは先月末にリヨン市7区で車上狙い盗難にあったものだった。2人目の男は現金190€を所持していたが、この男が乗っていたマウンテンバイクもどこで購入したか説明できなかったために身柄拘束となった。

1月7日午後8時頃、リヨン市第3区のPart-Dieu ショッピングセンターの中のデパート Galeries Lafayette から合計484€相当の上着2着を万引きした27歳の男が警察に逮捕された。防犯金具を引きちぎったために上着は破損しており、逮捕された際にこの男は警察を侮辱して反抗した。

1月7日、数週間前からリヨン市第8区で窃盗団による空き巣が何件も発生していたため、警察の窃盗団専門調査班が怪しい人物の出入りしている建物を監視していたところ、24歳と33歳のグルジア国籍の男達が郵便局員の持っている建物の鍵を利用して A. Lumière 通りにある建物に入り、数分後に手ぶらで出てきた。その翌日も翌々日もこの2人は同じ建物にあらわれたが、いったん入っては何も盗まず、手ぶらで出てきていた。そして3日目に現れた際には、30分後にカバンを持って建物から出てきたため、監視していた警察が現行犯で逮捕した。この建物では6階のアパートのドアの鍵が壊され盗難の被害にあっていた。この24歳の男は、すでに17件の前科をもっている男だった。

1月5日、リヨン市第8区在住の42歳の軍人が、インターネットの出会い系サイトで見つけた2人組の女性に連絡し、自宅に招き入れたところ、男性が風呂に入っている間に2人の女性が共犯の21歳の男と一緒に部屋の中にあるパソコンや携帯電話、車の鍵などを盗んで逃亡した。警察は女性達の携帯電話番号やネットのIPアドレスなどを使って調査し、後日犯人達を逮捕した。

1月9日午前3時半頃、リヨン市第7区 Aguessau 通りで車上狙い盗難を働いていた2人の若者が現行犯で逮捕された。この2人は、他の車から盗み取った物品を所持しており、またうち1人はその前の週に同じ罪で逮捕されたばかりだった。こうした軽犯罪の場合、逮捕されて身柄拘束にはなるものの、その後釈放され、判決が下るのは数か月後となっている。

1月9日早朝、リヨン市第3区 Lavoisier 通りでパトロールしていた警察官が、車上狙いで車からラジオを盗んでいる男を現行犯で逮捕した。

1月9日、リヨン市第9区にある会社 LYCAMOBIL の社員が、会社の金庫からカメラやGPS、現金5500€を盗んだ可能性があるとして会社から警察に通報があった為、家宅捜査が行われ逮捕された。

1月10日午前1時頃、Villeurbanne市 Charpenne 広場で、若いカップルが2人組の男から暴行を受け、犯人達は現金の入った財布を奪って逃亡した。この犯人達は、その後2時近くに Emile Zola 通りで19歳の男性からも携帯電話を奪い取った。カップルの通報で近所をパトロールしていた警察が怪しい2人組を見つけ尋問、取ったばかりの財布と電話を所持していたため逮捕した。

1月10日午前3時頃、リヨン市第3区 Part-Dieu 駅裏の通りで、車を壊して車内にあるものを盗もうとしていた39歳の男が、パトロールしていた警察に逮捕された。見つかった際に、この男は手袋やドライバー、ペンチなどの道具やGPSなどを投げ捨てて逃げようとした。この車以外にもすでに2台の車の鍵を破壊していたこの男の自宅には、同地域で盗まれた物品などがあり、男は罪を認めた。

1月10日午後2時頃、Villeurbanne市 Maison Neuve 広場でナンバープレートのないスクーターを運転していて逃げようとした若者を警察が尋問したところ、このスクーターは前日にリヨン市第3区で盗まれたものだった。本人は第三者から購入したと説明したが逮捕された。

1月11日、リヨン市第2区 Antonin Poncet 広場近くで、財布をひったくったホームレスの男が逮捕された。この男は他にも同様の犯罪をしている疑いがあるとして身柄拘束となった。

1月11日、リヨン市第7区 Gerland 通りにある有名なピザ店« Mamamia »に空き巣が侵入し、店のわかりにくい場所にあった金庫を開けて、中にあった現金などを盗んでいった。店の経営者はすぐに警察に届けて、指紋などのDNAが採取された。

1月12日午後8時頃、リヨン市第1区で警察の姿を見たスクーターが逃亡したため、警察が追いかけると、数メートル先に乗り捨ててあり、運転していた25歳の男は建物の中に入ってアパートの部屋に隠れていた。このスクーターは盗難車であったため、この男はその後逮捕された。

1月13日正午頃、リヨン市第3区 l'Abondance 通りで71歳の女性がひったくりの被害にあい、携帯電話と現金120€を盗まれた。その後、同じ第3区の Duguesclin 通りで14歳と26歳の2人のルーマニア人が警察に尋問されたところ、この2人は女性の携帯電話と現金を持っており、他人から買い受けたものだと証言したために、そのまま身柄拘束となった。

1月13日午後11時40分頃、リヨン市第7区 Béchevelin 通りで男性4人組が暗闇の中でスクーターを何台もトラックに積載しているのを怪しく思った近所の住民が警察に通報したため、警察がかけつけて尋問したところ、スクーターの一台がノルマンディー地方で盗難になっているスクーターだったことが判明した。

1月13日、目撃者などの証言により盗難犯の疑いのある男の車を、リヨン市第6区 Germain 通りで張り込んでいた警察が、この車から2人組の男が荷物を持って降りて建物の中に入っていたために尋問したところ、カバンの中から、その日の午前中にリヨン市第6区の Duguesclin 通りや Sully 通りにある6軒のアパートに空き巣に入って盗み出してきた宝石やコンピューターなどの品物が見つかった。この男達はグルジア国籍で、そのうちの1人のウクライナ人の妻は、この騒ぎの際に現金10000€といくつかの宝石を持ってこっそり建物から逃亡しようとしたところを逮捕された。

1月14日、リヨン市第9区 Jean Fournier 通りで、仕事に出かけようとしていた55歳のタクシー運転手の女性が、近づいてきた覆面男に車の中にあつたカバンを奪いとられた。その後、通報を受けた警察が犯人を捜していたところ、リヨン市と Ecully 市の境で警察の姿を見て覆面を捨てた男

をみつけ尋問したところ、盗み取ったカバンも所持していたため逮捕された。Ecully 市在住の 22 歳の男だった。

1 月 16 日、リヨン市第 7 区で盗難電話を使用した男女が、盗難暴行罪で逮捕された。この 2 人は、8 月末に若い女性に暴行して盗み取った携帯電話に自分の SIM カードをいれて使用したために、警察が今回逮捕することとなった。

1 月 17 日、リヨン市第 7 区 Tony Garnier 通りにあるサッカーチーム l'Olympique Lyonnais の事務所に侵入し、パソコンや衣服などを盗んでいたイゼール県在住の男を、警察が現行犯で逮捕した。

1 月 18 日、Saint Fons 市で空き巣事件が発生した。近所の若者が被害にあった家の庭の金網をよじ登っている犯人達をみつけ、その 1 人を捕まえたために、後日その共犯者も逮捕された。

1 月 18 日、冬のバーゲンで街中が賑わっているが、バーゲン品を万引きする犯人達が相次ぎ逮捕された。Bron 市にあるデパート Galeries Lafayette では、袋に 1 230 €相当の衣服をつめて店から出ようとした挙動不審の男を警備員がつかまえた。また、リヨン市第 2 区にあるブティック ZARA でも、防犯用具を取り外す磁石を使って衣服を万引きした 3 人組が、店員の証言によって駆けつけた警察に逮捕された。この 3 人組の車の中からは、他の店から盗んだ商品や、防犯ベルが鳴らないように鉛版を仕掛けたカバンなどが見つかった。

1 月 18 日、la Verpillère 市の警察が駅前駐車場に停まっていた BMW 車の運転手を尋問したところ、男の運転免許証のポイントはすべて無くなっている状態であり、男はその場で逃走した。その後すぐに Villefontaine 市でこの車は追跡した警察につかまったが、車の後部座席部に宝石や時計などが置いてあることを不思議に思った警察がトランクを開けさせると、中からはテレビやカメラ、電話や宝石など、さらにはパールや無線機などまでが見つかった。これらはローヌ県やロワール県などで起こった空き巣事件の盗難品で、運転手の 20 歳の男は逮捕された。

1 月 18 日、リヨン市第 5 区を走る市バス 46 番の中で、17 歳の少女が 2 人の少女に脅されて携帯電話を奪われた。その夜この事実を聞いた母親が、翌日娘同伴で同じバスに乗ってみると、娘がこの犯人の 2 人の少女を発見したために警察に通報し、2 人の少女達は警察につかまえられた。尋問すると、なんとこの 2 人は 13 歳と 12 歳であり、13 歳の少女は身柄拘束となったが、12 歳の少女はあまりにも幼いために釈放された。

1 月 19 日午前 2 時半ごろ、リヨン市第 3 区 Lacassagne 通りで若い女性に対して暴言を吐き、女性のカバンをひったくろうとした 18 歳の若い 2 人組の女が逮捕された。この 2 人は酒に酔っており、警察に対しても暴言を吐きパトカーを傷つけた。

1 月 19 日午後 10 時頃、Villeurbanne 市 Baudelaire 通りにあるガレージから、大きな袋をもって出てくる怪しい男達をみかけた近所の住民が警察に通報し、男達は逮捕された。袋の中にはガレージ 6 軒から盗み出したシャンペンや日曜大工道具などが入っていた。

1 月 21 日午前 4 時近く、リヨン市第 2 区 République 通りで 18 歳から 19 歳の男女 3 人が、3 人組の男達に暴力的なひったくりの被害に遭い、持っていたカバンに入っていたパソコンとタブレット端末などが盗まれた。この 20 歳から 22 歳の 3 人の男達はその後逮捕され身柄拘束となった。

1 月 22 日、リヨン市第 3 区地下鉄 Saxe Gambetta 駅でルーマニア人の 15 歳の少年が、仲間と一緒に乗客のリュックから財布を盗んで逃亡した。

1月25日、リヨン市第2区 Edouard-Herriot 通りにある Sephora 化粧品店で香水を何点も万引きして逃げていたロシア国籍の少年が、店からの通報により逮捕された。

1月25日、リヨン市第6区 Vendôme 通りで車上狙いの現行犯で4人の未成年者を含む5人の若者が逮捕された。調査をしたところ、6台以上の車を破壊していたことが判明した。

1月26日、リヨン市第3区 Saxe 通りで20歳の女性から暴力的に携帯電話を奪い取ったチュニジア国籍の男が逮捕され拘留となった。

1月26日、リヨン市第9区 Masaryk 通りにあるパン屋の裏口から空き巣が侵入し、金庫をそのまま奪っていった。現在調査中。

1月28日朝、Tassin 市に在住の男が、昨年からの3件の空き巣容疑のため逮捕された。この男の自宅からは、Tassin 市や Francheville 市、リヨン市第5区で発生した空き巣事件で盗まれたマルチメディア品や洋服など、ほぼ全ての物が発見された。被害総額は20 000 €相当とのこと。

1月28日午後、Limonest 市から Saint-Cyr-au-Mont d'Or 市につながる大通りで、合計5件の空き巣をはたらいた、リヨン市と Vénissieux 市在住の若者2人が逮捕された。

1月29日、Fontaine-sur-Saône 市で、偽プレートナンバーをつけた車を運転していたアルバニア人2人組が逮捕された。この男達の車からは Caluire 市の一軒家から盗み出してきた宝石やパソコンなどが発見されたが、Couzon-au-Mont d'Or 市でも同様の犯行をした疑いがあるため、引き続き取り調べられている。

1月29日、Bron 市で15歳と16歳の2人の少年が、空き巣の容疑で逮捕された。5件の空き巣未遂容疑もかかっている。

1月29日、28日に Rillieux 市で大麻樹脂の付着した刃物を所持していたために尋問され、その取り調べの際に、携帯電話に26日に Rillieux 市 l'Europe 通りにある店に空き巣に入っているところを動画撮影していることが判明したために逮捕された15歳の少年は、すでに50件を超える前科があるが、この日裁判所に出頭した際に法廷で逃走しようとした。この少年は、未成年拘置所に搬送される前に、母親に別れを告げたいと判事に許可を請い、同意を得た際に法廷を走って横切り、そのまま逃走しようとしたが、結局は裁判所のトイレに隠れているところを発見された。

1月29日、リヨン市第2区在住の94歳の女性宅に見知らぬ男が現れ、下の階の隣人が事故で意識を無くしているために病院に駆けつけたいが、自分の車がレッカー車に持って行かれてしまっているため、車を引き取るための金を貸して欲しいと言われ、女性は親切心で300 €を貸した。その後、騙されたことに気付いた女性は警察に被害届を出した。警察では、疑わしい場合にはまず警察(電話番号17)に連絡するように勧めている。

1月29日早朝、リヨン市第3区 Professeur Rochaix 通りにて、車上狙いで車を破壊していたホームレスの男が現行犯で逮捕された。この男は、7台もの車を壊して車内のものを盗み出していた。

1月29日午後6時半頃、Villeurbanne 市を走る市バス C3 番の中で、乗客のカバンの中から貴重品を盗んだ46歳の男を、市交通警察が逮捕した。

1月29日午後7時頃、リヨン市第8区 Marius Berliet 通りで、25歳の女性から暴力的に携帯電話を奪い取った19歳のホームレスの男が逮捕された。

1月29日午後7時半頃、リヨン市第9区 Vaise 駅で15歳の少年に近寄り、殴ってヘッドフォンを奪い取った、15歳の少年2人組が逮捕された。

1月29日、Albigny-sur-Saône 市で、昨年9月から10月の間に、リヨンの市内やその郊外で計11件の空き巣を共犯2人と働いていたグルジア国籍の38歳の男が、その妻の家で逮捕された。

1月30日、リヨンの市内で少女達を刃物で脅して、カバンを取り上げていた若い女3人組の裁判が行われた。この3人組の女は、判明しているだけで7件のひったくりを重ねている。狙うのはいつも自分達より若い少女達で、今回の裁判では被害者達も証言したが、容疑のかかっている3人のうち特に2人には反省の色も薄く、このまま釈放しても犯罪を繰り返す可能性があるとのことで、裁判所は3月7日の判決まで拘置することを決定した。

1月30日午前10時頃、Saint-Fons 市 Sampaix 地区に無許可で占拠した土地に在住している24歳と34歳のルーマニア人が、Vénissieux 市 Marcel Sembat 大通りにあるトルコレストランに不法侵入しているところを警察に現行犯で逮捕された。

1月31日午前4時頃、リヨン市第2区 Auguste Comte 通りにある装飾品店に侵入して、パソコンを盗み出していた麻薬中毒のホームレスの男が現行犯で逮捕された。この男は、このパソコンを売って麻薬を購入する金を手に入れたかったと自供している。

② 粗暴犯罪事件

1月1日午前2時半頃、リヨン市第3区 Saxe 通りの建物外壁工事現場の高台にふざけて登っていた19歳から30歳の3人の男達を見かけた警察が危険なために注意したところ、この3人は激しく反抗して暴言を吐き、警察官2人に暴行して全治10日の大けがを負わせた。

1月1日午前3時半頃、リヨン市第5区にあるディスコに入ろうとした32歳の Villeurbanne 市在住の男が、警備員に入場を抑制されたため腹を立て、大量に酒気を帯びていたこともあり、警備員の顔と手を近くにあった物で殴りつけて怪我を負わせた。

1月2日午後、リヨン市第9区地下鉄 Gorge-de-Loup 駅で、TCL 都市交通局職員に注意され腹をたてた20歳のチュニジア人が、職員に対し激しい頭突きをしたために逮捕された。

1月3日午前7時半頃、Villeurbanne 市 Magenta 通り在住の44歳の男が、同居している46歳の女性への家庭内暴力のために逮捕され、身柄拘束された。この女性は全治6日間の怪我を負った。

1月3日午後5時頃、イゼール県 Chasse-sur-Rhône 市の駐車場でたまたますれ違った若者同士がはじめた口論が喧嘩へと発展し、逆上したその内の1人の男は、自分の車でその場にいた2人の若者に突撃して大怪我を負わせて逃亡した。その後警察はこの前科を持つ犯人の居場所をつきとめ、Ternay 市の自宅で逮捕した。

1月7日、Oullins 市在住の26歳と19歳のカップルが、2か月半の乳児に暴力をふるっていた疑いで身柄拘束となった。幼児虐待の疑いがあったため、市の母子保護課が子供を病院に連れて行

き診察を受けるように両親に勧めたところ拒絶した。その後、乳児は救急病棟に運ばれ、病院の医師が診断した乳児の受けた傷が大きかったために保護された。

1月8日、Villeurbanne市 Marengo バス停で、TCL 都市交通職員が乗車券検査をしていた際に、乗車券を持っていなかったために TCL 職員を押しつけて逃亡した18歳の若者が、その近くで捕まった。押された職員は軽傷を負った。

1月8日、リヨン市第9区 Duchère 地区 Marcel-Cerdan 通りにある建物内のエレベータを修理していた2人の男性が、26歳と45歳の2人組の男達に暴行を受けた。同日午後はこの2人は逮捕された。暴行された理由は分かっていない。

1月10日午後9時半頃、Villeurbanne市 8 mai 1945 通りでパトロールしていた警察の車が、15人程の若者集団に囲まれ、激しく暴言で罵られ、石、缶や卵などを投げつけ、中には催涙ガスを撒く者もいた。応援の警察が到着した際に、近くの建物に逃げ隠れていた5人の若者は逮捕され、身柄拘束となった。

1月13日、Villeurbanne市 Gratte-Ciel 地区にある Brossolette 高校の校門近くで、23歳の生徒に、その生徒と校内で口喧嘩をした女生徒の仕返しをするために現れた21歳と22歳の2人の友人男性が暴力的に襲い掛かってとっくみあいの喧嘩となった。生徒はもっていたハサミをもって護身し軽い怪我で済んだ。この若者たちは3人とも暴行罪で逮捕された。

1月15日午後7時半頃、リヨン市第7区 Béchevelin 通りで、何者かに刃物で太腿部と腹部の二か所を刺された25歳の男性が、救急隊に病院まで運ばれた。理由や詳細についてはまだ判明していない。

1月16日、リヨン市第7区で、面会禁止になっているはずの54歳の男が前妻の自宅に現れ、前妻とその娘に暴力を振るって全治5日の傷を負わせ逮捕された。

1月19日午後、リヨン市第8区 Challemel-Lacour 通りでゴミ箱が燃えているとの通報がはいったために現場に消防隊がかけつけると、火災はなく、若者達の集団が消防車に対して石などを投げて車のバンパーなどが破損した。消防隊では被害届を出したとのこと。

1月19日午後4時頃、リヨン市第8区 Paul Santy 通りで、酔っ払いの男2人組が車やバスの前に飛び出して通行妨害をし、そのうち1台の車の前に飛び出して、その車のバンパーを破壊した上、ドアを開けて運転していた女性を殴ろうとしたり、刃物でおどしたりした。この2人は、通りがかりの人達に捕まえられ、警察に引き渡された。

1月20日、Villefranche市の高速料金所で、税関職員が Mercedes のワゴン車の運転手を尋問したところ、この男は25歳のモロッコ人で、車の中には散弾銃、オートマチック銃、催涙弾、銃弾などの入った鞆があったが、無料で人から譲り受けたとの事で、どこの誰から手に入れたかは証言を拒絶した。

1月25日朝、Vaulx-en-Velin 市での交通検問に従わずに逃走した Mercedes 車に乗った22歳から33歳の男4人組が、その後30分の逃走を続け、警察の車が追跡している途中で壁に衝突したために Genas 市で逮捕された。この車はその日盗難車として届けられていた車だった。

1月25日、リヨン市第7区 Jules Carteret 通りで、酒気を帯びて、交通法を守らずに BMW 車を運転していた無免許の23歳の男が逮捕された。この男はコカインを所持していた。

1月26日、リヨン市第7区 Yves Farges 大通りにあるホームレスシェルターで、夜間監視人を刃物で脅して騒いだ男が、駆けつけた警察に対しても筋の通らない話をし、激しく抵抗したため、病院に入院させられた。

1月26日午前7時半頃、リヨン市第7区で信号無視などの交通違反を重ねていた運転手が警察に尋問されたところ、この男は、免許停止になっていたにもかかわらず酒気を帯びて運転し、車の中には覚醒剤を所持していた。この男はすでに同様の前科を重ねており、拘留された。

1月27日、1月18日にリヨン市第8区 Mermoz 地区でパトロールしていた警察に向かって銃を発砲し、警察官2名を負傷させた29歳の男が逮捕された。事件の翌日警察が現場付近を調査したところ、近くの建物の共有部分にカービン銃と手袋が隠してあるのがみつきり、それらに残っていたDNAを鑑定したところ、その建物に住む前科のあるこの男のものと判明して逮捕となった。この男は逃走しようとして建物の3階から飛び降りたが、奇跡的に無事だったとのこと。

1月27日午後8時半頃、Vaulx-en-Velin 市で車を運転していた18歳と16歳の2人の若者が逮捕された。この2人は、Bron 市 Genas 通りにあるガソリンスタンドでガソリンを入れたものの代金を支払わずに逃亡し、スタンドの経営者が後を追いかけたために、警察が発見し、数分後に逮捕された。取り調べたところ、この車のナンバープレートは他の車から盗まれたもので、若者の1人は大麻樹脂を25g所持していた。

1月27日、リヨン市第8区在住の28歳の男が、昨年11月に第4区で破損された車に残っていた指紋などが一致したために自宅で逮捕された。

1月29日、リヨン市第6区 Puvis de Chavanne 広場で、29歳と35歳のルーマニア人が、同じルーマニア人2人連れに煙草を渡せと言ったが断られたために、この2人を殴り、さらに鉄棒で叩いて暴行した。暴行をした2人のルーマニア人は、それぞれ窃盗の罪で指名手配されていたため逮捕となった。

1月30日午後7時半頃、Givors 市にあるスーパーCarrefour 店で、5歳の女兒を無理やり連れ去ろうとしていた男がいるのを、レジの女性が気付いて、出口ぎりぎりのところで少女を助け出し、警備員のところに連れ戻した。この男はすぐに店の中にもどり、今度は他の少女を連れ出そうとしたが、すぐ横にいた母親が阻止した。この間に店の職員が警察に通報したために、この28歳の男は、未成年誘拐未遂で警察に逮捕された。この男に前科はないが、この日同じスーパー内で怪しい男を見た証言者がいれば、Givors 市の警察に連絡してほしいと呼び掛けている。

③ 凶悪犯罪事件

1月2日午前中、リヨン市第8区 Paul Santy 通りにあるディスカウントスーパーALDIに銃をもった強盗が入り、16歳と17歳の少年2人組が逮捕された。この2人は容疑を否認しているが、スーパーから強盗の通報があつてからすぐに現場に駆けつけた警察は、その後2人が走って逃げた方向にあるアパートの建物などを隈なく捜査し、疑いのある2人を見つけ、さらに建物の階段部分に隠してあった銃と覆面、強盗被害額に値する現金の入った鞆などを発見した。鞆の中にはうち1人

の名前入りの市交通パスが入っていたり、もう1人の洋服のポケットからは銃の一部が見つかったりしている。この2人はいずれも前科20件以上の常習犯らしい。

1月3日夜、Villeurbanne市 Bourgehanin 通りにあるアパートで32歳の女性の死体が発見された。死体には刃物で何度も刺された跡があり、元同棲者の53歳の男が夜遅く身柄拘束された。この男はすでに前の妻への暴力で有罪判決をうけて受刑したことがあり、この殺された女性との間にも2人の子供がいたがすでに別れていたとのことで、子供たちも暴力を受けていたために保護されていた。

1月7日夜、リヨン市第8区 Moulin à Vent 地域にあるPMUカフェバーの経営者男性が、閉店して自家用車で帰宅する途中に信号で止まった際に、スクーターに乗った何者かが窓ガラスを割って催涙ガスを車内にまき散らした。さらに銃で男性を脅し現金を奪って逃走した。このリヨン市第8区にあるPMUカフェバーは、2005年以来合計14回、2013年だけで3回もの強盗の被害にあっており、昨年末に店内に新しく防犯システム（犯人が立ち去る際に簡単には消せない紫外線ランプでしか見えない化学薬品を犯人に散布して証拠を残す）を設置したばかりであった。男性の話では、過去4年間に被害にあった事件の犯人がいまだに捕まっておらず、昨年3月にはパトロールの警官が立ち寄った直後に襲われたとのことで、不安な毎日を過ごしているとのこと。

1月12日朝8時頃、Villeurbanne市 Emile Zola 通りにあるシシャ(水煙草)バーで火災が発生した。警察が調べたところ、ガラス窓にある柵を剥がして窓から侵入した痕跡があり、またガソリンをまいた形跡があることから、何者かが放火したものとみて調査を続けている。

1月19日午後2時頃、Bron市にあるジブシー集団居住地で、43歳の男性がカービン銃で撃たれて救急病院に運ばれたが間もなく死亡した。このあと警察が取り調べたところ、発砲したのは同じ居住地に住む23歳の男で、子供の養育権に関する言い争いが原因らしく、この男はその日の午後3時に逮捕された。

1月20日、Villie Morgon市の青年農業教育センターに侵入しようとしたが入れなかった16歳の少年が、自分の父親宅にあった銃を持って、酒気を帯びた状態でそのまま寮に向かい、内部にいた学生などを脅した。警察はこの少年を逮捕して身柄拘束した。

1月25日午後7時頃、Amplepuis市スーパーIntermarchéのガソリンスタンドに、銃を持った何者かが強盗に入った。Villefranche市警察では、目撃者などを探している。

1月28日、Bron市 Laurent Bonnevey 通りにあるガソリンスタンド Total Access に強盗が入った。スクーターで現れた2人の犯人は、ヘルメットで顔を隠したまま従業員を銃で脅し、レジの中の現金を奪い取った。従業員を暴行した後、この2人の犯人はスクーターで逃亡した。警察では、従業員の証言と店内の監視カメラの映像から犯人を見つけ出すよう、調査を進めている。

1月30日午後6時頃、リヨン市第5区 Ménéval 大通りにある煙草販売店に2人の覆面を被った強盗が押し入り、従業員を持っていた銃で脅してレジの中の現金を奪い取り、外で待っていた車に乗って逃亡した。

④ 知能犯罪事件

1月8日、Rilleux-la-Pape市の職員で、市内のマルシェ市場の出店場所区分け担当をしていた33歳の男が、場所使用料を着服（数か月間で約10000€相当）していた罪で逮捕された。この男は、

11月に突然5日間行方をくらましたために市が不審に思い調べたところ疑惑がもちあがり、市が警察に届出を出したために、公務員の逮捕となった。

1月15日、Vénissieux市にあるスーパーCarrefourの警備員から警察に通報があり、偽文書を見せて店でローンを組もうとしていた65歳の男が逮捕された。この男は南仏のBéziers市在住で過去に強盗犯の前科があるが、今回は郵便局で偽身分証明書などを使って口座を開き、スーパーでローン詐欺を働こうとしていたらしい。

1月21日、リヨン市第3区 Paul Bert 通りに駐車して、車内で携帯電話の売買をしていた2人の男達を怪しく思ったパトロール中の警察が尋問したところ、この28歳の男の車の中には、新品の携帯電話が11台もあった。この男の家宅捜査したところ、他にも携帯電話が見つかったために、さらに取り調べたところ、この男は偽の身分証明書や銀行口座証明書を使って電話を購入し、それを売り捌こうとしていたらしい。

1月21日、リヨンの市内とアン県に3ヵ所拠点をもつ金買取会社の経営者関係者3人が逮捕された。警察ではこの会社の経営方法に関して以前から目をつけ、調査を重ねていた。郵便箱やダイレクトメールなどで勧誘して集客し、個人宅に向いて商売していたこの会社では、金や貴金属鑑定人と自称しながら実はその資格を持っていない営業マンに仕事をさせ、合法的な返品期間などの案内もせず、また金買取価格に関しても市場価格の約半額の値段で取引を行って不正な利益を上げていた。

1月21日朝、リヨン市第8区、Vaulx-en Velin市とVénissieux市で150名の警察官導入で一斉捜査が行われ、盗難自動車転売組織に関係していた20人が逮捕された。警察では2012年末から、盗難車の部品をインターネットのサイト Le Bon coin で転売している掲載者などを監視しており、その組織網が捜査で明らかになった為に、今回の一斉逮捕となった。この組織では、リヨン近郊で起きた約42件の盗難車から3000個以上の部品の転売、また、廃車から車両番号などを取り付け直し、盗難車を中古車として販売したりしていた。逮捕時にはBMWやJaguarなどの12台の盗難車や、車のエンジン十数個や部品、そして現金62000€が押収された。

1月28日、偽の身分証明書や偽造書類を使って二つの銀行にそれぞれ口座を開き、合計3756€の支払いに使っていた男が、届け出があったために警察が調査して逮捕された。男は罪を認めている。

1月29日、リヨン市第3区で、1988年からフランスのパリ地方に不法滞在して、盗難パスポートや偽造書類を使用して、リヨンやその近郊地で銀行口座を開きしていた43歳のアンゴラ人が逮捕された。

1月30日、Roanne市在住の2人の男が、1人の妻の給与明細書を偽造して、車や他の商品購入ローンを組み、また友人の男にもこの方法を利用して不動産ローンを組ませていた。5月27日に裁判所に召集される。

⑤ その他

1月1日午前3時頃、リヨン市第2区 Victor Hugo 通りでゴミ箱に火をつけていた男が現行犯で逮捕された。

1月2日、リヨン市第9区 Andréi-Sakharov 通りに在住の妻の自宅で、家庭内暴力で有罪となり電子ブレスレットをつけているはずの40歳の男が、そのブレスレットを勝手に外して自由に外出などしていたために逮捕された。

1月2日、先月行われた麻薬・覚醒剤密売の一斉捜査に続き、リヨン市第8区 Mermoz 地区に警察が再度一斉捜査に踏み込んだ。今回は、建物の地下倉庫で警察犬が1,280 kg の大麻樹脂をかぎつけ、その倉庫の持ち主である20歳の男が逮捕された。本人は容疑を否定しているが、この男は前科もなく、アパートの中からは梱包のための用具もみつきり、密売組織の中では「nourrice」と呼ばれる薬剤の倉庫・梱包係としての役割を担っていたと見られている。

1月3日午前2時頃 Caluire 市で、速度違反の車が交通検問を破って走り去ったため警察が追跡すると、すぐ先の Painlevé 通りに車が乗り捨てられており、乗っていた2人の若者は近くの建物に逃げて隠れていた。その後犯人達は身柄拘束となり、この車の中からは疑わしい違法煙草や現金などの入った鞆が見つかったために現在取り調べが行われている。

1月4日、リヨン市第1区 Romarin 通りのアパートの一室で、24歳から28歳の13人の男女が誕生日会として祭り騒ぎをし、近所の迷惑を考えずに大きな音楽や叫び声を出していたため、同じ建物の住民が直接彼らに苦情を訴えたところ聞き耳を持たず、午前2時頃に警察に連絡した。3時頃に警察が現場に到着したが、大量に酒気を帯びた若者たちは警察に対して暴言や侮辱の言動を吐き抵抗し、暴力的にドアを開けた際に警察官に怪我をさせた。この若者たちは午前6時頃には警察で身柄拘束となった。若者たちの中の2人は弁護士だったとのこと。

1月5日夜中、リヨン市第9区 Pierre-Baizet 通りで、Jean Perrin 高校の外壁に極右団体 GUD のポスターをはり、その団体の名前をペンキで落書きしていた16歳から19歳の8人の若者たちが逮捕され身柄拘束となった。そのうちの1人は、催涙ガスを所持していた。

1月6日午後9時頃、Villeurbanne 市 Bat Yam 通りの住民の通報で、警察が以前から見張っていた建物のホールで、隠してあった大麻のはいった袋を、天井板を外して取り出していた18歳の若者を逮捕した。袋の中には大麻樹脂62gと大麻の乾燥葉27gがあり、また現金1670€と建物に入るためのバッジ、建物内のカーヴの鍵などを所持していた。

1月7日夜中、高速道路A7線のイゼール県 Vienne 市の料金所で、税関員が若い2人組の男達を呼び止め尋問したところ、この男達の車内からは、大麻樹脂30gと銃が見つかった。

1月9日、リヨン市第3区の Villette 地区で3台の車が放火されて燃えた。この地域では昨年末にもこれ以外に4台の車が放火されているとのこと。

1月10日、リヨン市第3区 Part-Dieu 駅で重そうなスーツケースを引きずっている2人組の不審な男達をパトロール中の警察が尋問したところ、この2人は南仏の水パイプ煙草バーに売るためにスイスで仕入れた煙草を213kg所持していた。たばこの売買は専売特許を所持する煙草店のみが認められている行為で、この2人にはこの煙草の価値27000€相当の罰金が課せられるとの事。

1月12日午前3時頃、リヨン市第9区 St Rambert 地区で17歳から19歳の若者3人組が酔っていたためにふざけてごみコンテナに放火したところ、その火が横に停めてあった車や建物の外壁に広がったために、建物の住民は夜中に避難するはめとなった。この犯人の若者たちは逃亡しようとしたが、近所の住人が逃げようとするところを見かけ、助けが必要と言って呼び止めた為、そのまま警察が逮捕することとなった。

1月13日午前2時近く、リヨン市第5区 La Quarantaine 通りにある建物の地下駐車場で車両火災が発生し、隣の建物と合わせて約50名の住民が真夜中にアパートから避難して、朝の5時まで

外で長時間待たされることとなった。はっきりした火災の原因は分かっていないが、駐車場では数台の車が炎上していたとのこと。

1月13日、リヨン市第6区にあるユダヤ教会堂の壁にある標示パネルに、極右活動団体 GUD のポスターが貼ってあったために、この教会の責任者は警察に対して被害届を出した。この教会は、外見は普通の建物とかわらなく、ユダヤ教会堂と標示パネルがあるのみなので、確信犯の可能性が強いとのこと。この教会には約200家族のユダヤ人が集まる。

1月15日、Dardilly 市在住の82歳の男性が、32歳のホームヘルパーの女とその共犯者に騙されて110000€相当の物品などの騙し取られる被害をうけた。男性が自分の車がなくなったと、盗難届を警察に届けたために、警察が調査をすすめたところ、この車はヘルパー女の友人の男の名義になっており、この車の売買書には82歳の男性の署名が偽造されていたことが判明した。ヘルパーの女とその兄、そして友人の男が逮捕された。男性とヘルパーの女は1年程前にレストランで意気投合し、その後女が男性宅でホームヘルパーとして働くようになったが、その後、贈答品としては高額すぎる物品を数々と男性に買わせて貢がせていたらしい。

1月16日午前3時頃、アン県の Boisse 高速道路料金所で、グルノーブル方面から来た疑わしい2台の車を警察が呼び止めて尋問したところ、3人組のパリ郊外在住の男達の車からは15丁近くの各種大型銃器や銃弾などを発見した。彼らはパリ郊外の街へこれらの銃器を配送している途中だった様子。この平均年齢25歳の3人はリヨンの警察で身柄拘束となっている。

1月16日、リヨン市第9区 Dumas-de-Loire 広場で、大麻樹脂棒100gを所持していた25歳の男が逮捕された。警察が男の自宅を調査したところ、同様の大麻樹脂棒が6本みつき、地域の客に密売していたために身柄拘束となった。

1月20日、リヨン市第7区にある金属リサイクル会社 RDM 社の経営者とその社員らが逮捕された。数か月前から警察ではこの会社が盗難金属類の売買を隠匿している疑いで捜査をしていたが、この日60人の警官を伴う一斉捜査が行われ、会社のある Fos-sur-Mer 通りは封鎖され、ヘリコプターが辺りを監視しての大捜査となった。近所の住民は、「以前からロム人たちがトラックに乗ってこの会社の前でよく列をつくっていた」、「週末明けは特に人が多く、開店前からたくさんのトラックが待っていた」などと証言している。この日、合計6人が逮捕され身柄拘束となった。5年ほど前から銅の価値が上がり、それ以来鉄道路線や工事現場、粗大ごみ場などで金属類の盗難が後を絶たない。

この後の取り調べによると、この会社での正式な取引は3割にしか及ばず、残りはすべて盗難品の隠匿取引で成り立っていたとのこと。

1月20日頃、サンテチエンヌ市で空き巣被害を調査するために警察が訪れたアパートで、33本の大麻草が栽培されているのが発見された。乾燥した大麻の葉も見つかったこのアパートの住民の44歳の男は、明らかな証拠を前に否認することができなかった。

1月20日、リヨン市第8区 Mermoz 安全監視優先地域で警察のパトロールが行われたところ、Albert Morel 通りの建物の共有部分から、大麻樹脂117gと、鉛リードライフルなどが押収された。

1月22日、スペインから違法に大麻の種子54kgを搬送してきた Audi などの車3台からなる Go Fast 輸送団が、高速 A7 線のイゼール県 Roussillon 料金所を通り抜けたところ、数か月前から捜査をして張り込みを続けてきたリヨンの警察が追跡した。3台の車はそのまま逃亡し、2回の発砲が

あった様子。結局 1 台の車は乗り捨てられ、2 台の車で逃亡したが、その後この犯人達はリヨン市第 8 区の Mermoz 地区で逮捕された。

1 月 27 日午後 4 時頃、Villeurbanne 市で、偽造外国運転免許証を持って車を運転していた 34 歳の男が逮捕された。

1 月中には、リヨン市第 2 区の Perrache 地区で破損行為が散見された。Casimir Perrier 通りでは、駐車してあった車が分解され、扉やボンネット、トランク、ラジエーターなどが無くなった状態で発見されたり、Delandine 通りでは壁に大きな落書きがあったり、又、Charlemagne 通りに展示してあった Confluence 開発地域の大型写真パネル 6 枚のうち 3 枚が姿を消した。

1 月 28 日、リヨン市第 8 区 Mermoz 地区で一斉捜査のあった際に、20 歳の若者の自宅から、大麻 203 g と大麻樹脂 496 g、また覚醒剤が数キロ入った袋や現金 4 025 € が押収された。

1 月 29 日、リヨン市第 3 区 Part-Dieu 駅で、大きなカバンをもった 2 人組の男をパトロールの際に警察が尋問したところ、33 kg の水パイプ用の煙草を所持していた。このマルセイユ在住の 2 人の男達はこの煙草をどこで手に入れたか証言せず、税関に煙草は没収された。

1 月 29 日、Villeurbanne 市 Paul Strauss 広場で大麻樹脂棒を 12 本所持していた 20 歳の若者が逮捕された。家宅捜査の結果、自宅からは大麻樹脂 500 g とコカイン 1 g、大麻の梱包用具などが見つかった。

1 月 30 日、リヨン市第 8 区 Mermoz 地区 Albert Morel 通りと Gaston Cotte 通りにある建物の共有部分に、安全監視優先地域のための警察の一斉捜査が入り、ホールに隠してあった大麻樹脂 30 g が発見され、また大麻樹脂 10 g を所持していた若者が身柄拘束された。

1 月 31 日、Villeurbanne 市の交通検問で、大麻樹脂を 47 g 所持していた運転手が逮捕され、その後家宅捜査がおこなわれたところ、この男の自宅からは大麻樹脂 500 g とコカイン、そして現金 3 400 € が発見された。身柄拘束の取り調べの際、男は過去数か月の間に大麻樹脂を約 3 kg 売りさばっていたことを自供した。

⑥ テロなどに関する一般治安情報

特になし

5. 今月の出来事

トラム T1 線が間もなく Confluence 地区から Gerland 地区まで延長。

昨年末に、リヨ市内のトラム T1 線はペラッシュ駅先の Hôtel de Région/Montrochet 駅からジェルラン地区の Debourg 市駅までの、新しい Raymond-Barre 橋を渡っての線の試運転を始めたが、今月にはさらに空車のトラムを何度も試運転テストさせて来 2 月 19 日からの開通に備えている。

リヨン市第 9 区 Gorge-de Loup 駅 (TCL /SNCF) での軽犯罪に警察が介入

TCL 都市交通の職員が侮辱されたり、バス停のガラスが破壊されたり、地下鉄の改札機が破壊されたり、また若者の集団が駅の周りに違法駐車してたまり場となり、飲食したり公共スペースで喫煙したり麻薬・覚せい剤の密売場所となっているなど駅での治安に問題があるとして、利用者から

TCL 都市交通側に訴えがでていたため、リヨン市第9区の警察が今回介入した。今月は3人の逮捕があり若者集団の騒ぎも落ち着き、駅にも静寂が戻ってきたが、今後も警察がパトロールを続けることとなる。

Pont de l'Université

昨年の4月初めに、ローヌ河を渡る Pont de l'Université 橋の下を通る客船同士が衝突した際に、橋桁の一部に接触したため、橋の歩行者用歩道下の部分が一部損壊した。以来片方の歩道が通行止めとなっているが、この修復工事は今年9月からしか開始されないとのこと。ただし、車道やもう片方の歩道に関してはまったく問題がないということなので普通に渡ることができる。

中学校教師がアウシュヴィッツ収容所から持ち出し

1月16日に、中学生のグループに同伴してポーランドに学習旅行に同伴して行っていたリヨン近郊の中学校教師が、帰りのクラコヴィ空港で、ポケットの中にハサミと柄孔をもっていたために治安警察コントロールで呼び止められた。この教師は、この2品をアウシュヴィッツ収容所で拾ってきたことを認め、違反行為を認めた。ローヌ県議会がチャーターしたリヨンまでの飛行機は1時間遅れで、この教師を乗せて飛ぶことができた。教師は、生徒が見つけたため拾ってもよいと許可をだし、ティッシュに包んでポケットに入れたらしく、学校にもどってから発表会などで使おうとしたと説明しているらしいが、この教師は不注意な行為を認め、地方議会委員長に対して陳謝の意を表した。

ローヌ県議会では、1995年から現在までに、毎年県内にある中学15校から約150人の中学最終年生をアウシュヴィッツの研究旅行に送り出している。ホロコースト追憶基金も援助金を出している。